

別記様式（第3条関係）

事務事業評価調査書（26年度）

No.	5		作成日	平成26年10月3日	
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成25年度事業
	項	1	健やかに暮らせるまちづくり	課名等及び係名	福祉課 高齢介護係
	節	2	高齢者が生き生きと暮らせる環境づく	記入者職氏名	課長補佐兼係長 齋藤 弘美

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事務事業名	高齢者等安心コール事業			
事業概要	対象	一人暮らしの高齢者等		
	目的	高齢者に電話による声かけを行ない、安否の確認と孤独感の解消を図る。		
	実施内容	社会福祉協議会に委託し、週1回声かけを実施し、安否の確認と孤独感の解消を行なう。		

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	
	款	3	民生費		事業名 (施策名)	
	項	1	社会福祉費			
	目	2	高齢者福祉対策費			
事業名	高齢者等安心コール事業		根拠法令			

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

事業期間	開始	終了				
	平成24年度	年度				
年度	事業費（決算・予算）	財源内訳（単位：千円）				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22年度実績						
23年度実績						
24年度実績	593					593
25年度実績	1,639					1,639
26年度当初	1,577					1,577

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
25年度分						

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
状況説明	登録人員が100名程度で推移しており、周知活動を進め増加させる取り組みが必要です。		

V 問題点の概要

問題点	登録人員が100名から増加しない。今後周知不足の解消等の取組を進めなければならない。
-----	--

VI 成果指標

成果指標名	単位	25年度		26年度		27年度		28年度		対28年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
登録人数	人	95	150	—	200	—	250	—	300	31.7%
指標に表われない効果	制度としての認知度は年々上がっているが登録人の増にはつながっていない。									

【事務事業の評価】

◎一次評価（担当課においての評価）

Ⅰ 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか。 ○対象・意図を見直す余地はあるか。 ○町が実施又は関与すべき目的であるか。	■妥当である □どちらともいえない □妥当でない	安否の確認・孤独感解消の目的は妥当である。
有効性	○成果向上の余地があるか。 ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか。 ○目的が達成されたか。	■有効である □どちらともいえない □有効でない	一人暮らし高齢者に対しての事業として非常に有効である。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か。 ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか。 ○他の事務事業との統合は可能か。	■効率的である □どちらともいえない □効率的でない	ボランティアの協力により対応しているのでコストの面でも効率的である。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか。 ○負担者（納税者）の理解は得られているか。	■公平である □どちらともいえない □公平でない	地区の民生委員との協力により進めています。申請による事業なので、公平性はあると思われる。

Ⅱ 総合評価

今後の方向性	2								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
<p>【総合評価】※理由、具体策及び今後の課題等を記入してください。</p> <p>一人暮らし高齢者等には有効な事業である。さらに周知を進める中で登録者の増を進める必要がある。</p>									
<p>【所属長意見】</p> <p>一人暮らし高齢者が増加する中、見守り事業の一つで非常に有効である、</p>									

◎二次評価（事務事業評価委員会による評価）

今後の方向性	2
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了
4 見直し（実施規模を縮小する）	
【具体的内容】	
制度の周知を図り、登録者の増加に取り組み、引き続き事業を推進すること。	
【備考】	